2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	管理会計論A（Management Accounting A）		
ナンバリングコード	E30606	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 会計ファイナンス
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 前期
必修･選択区分	コース必修：会計ファイナンスコース 選択：地域マネジメントコース、Bソリューションコース、スポーツビジネスコース、こども・福祉コース コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E009001	クラス名	－
担当教員名	工藤　順一、橋本　堅次郎		
履修上の注意、 履修条件	簿記、原価計算といった会計の関連科目をしっかり勉強することが望ましいです。管理会計には会計系の学び方と実務系の学び方があります。本講座では実務系の学び方で管理会計を学びます。意思決定のための会計ですから、企業の経営者や管理職になったつもりで受講してください。自分ならどうするかという視点が必要です。		
教科書	特にありません。		
参考文献及び指定図書	世界一分かりやすい管理会計（林あつむ、中経出版） わかる管理会計（林あつむ、ダイヤモンド社） 管理会計入門（高田直芳、日本実業出版社）		
関連科目	簿記入門、財務管理論、会計学、原価計算論		

○成績評価の指標		○成績評価基準（合計100点）		
到達目標の観点	到達目標	テスト（期末試験・中間確	提出物（レポート・作品等）	無形成果（発表・その他）
【関心・意欲・態度】	管理会計について関心を高める。		5点	5点
【知識・理解】	管理会計は計算することだけでないことを理解し、様々な事例から管理会計についての知識と理解を得る。	20点	10点	5点
【技能・表現・コミュニケーション】	毎回のレポートを通して、授業で得た識見を文字で表現することを学ぶ。さらに他の学生のレポート内容を知ることで識見の幅を広める。			5点
【思考・判断・創造】	全15回の授業で管理会計への情報を蓄積し、企業の数値について思考・判断ができるようになること。自分自身の考えを創造することができるレベルを目指す。	30点	10点	10点

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）

毎回のレポート提出により回を重ねる毎のレポート内容の充実を求める。良いレポートの場合は授業でフィードバックする。
授業での発言を重視し成績に反映する。

○基本情報		
授業の目的	管理会計は、企業経営を行う上で非常に重要な学問と考えられています。管理会計は意思決定のための会計ですが、この授業では主に管理会計と考え方を理解するとともに、実務的にどのように使われているかを学びます。社会に出て役立つように、管理会計の構造を理解し、使えるようになることが目的です。 また「考える」から「考え抜く力」を身に付けることも重要視します。	
授業の概要	管理会計論に必要な基礎知識や専門用語の理解を深めます。そのために毎回「学び」「質問」を小レポートで提出もらいます。質問については次回の授業の最初に答えます。管理会計は業務との関係が深いので、質問の答えも実務に即した幅広い内容になります。主として毎回の授業では事例を中心に学生諸君と一緒に考える授業スタイルをします。	
授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「該当しない」
	（3）アクティブ・ラーニング	「反転授業」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	本授業に関する実務経験として、コンサルタント会社における経営指導経験、食品業（東証1部）における上場担当取締役、管理本部長としての経験、他上場志望企業における管理本部長経験。個人事業主としての起業経験	

○その他

グループディスカッションと発表を重心とした授業です。かつ教員と学生が双方で対話をしながら授業を展開します。そのメリットしては「コミュニケーション能力の向上である。」問題に対して、深く考え、伝える、巻き込むなどの力を身に付ける。さらに、他者の意見を聞く、傾聴力も身に付ける。

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	管理会計論A（Management Accounting A）	授業コード	E009001
	担当教員	工藤　順一、橋本　堅次郎		

学修内容

1. 管理会計とは
管理会計とは何かについて学習をします。会計とは何か、経営管理とは何かについても学習する必要がありこれらを教えた上で、管理会計とは何かについて学習していきます。
擬似会社（バーチャルカンパニーの設立）の社名決定、役職者決定。プレゼンテーション：会社説明

予習	管理会計とはなにか。事前学習	約2時間
復習	授業レポート提出作成	約2時間

2. 管理会計と財務会計の違い
管理会計と財務会計の違いについて学びます。管理会計には数値を使う会計系と数値を使わず実務面から学ぶ実務系があります。本授業では実務系の会計を中心に進めます。
・前回の復習と質問→課題提示→個人ワーク→グループワーク→プレゼンテーション

予習	課題シート：管理会計と財務会計の違い	約2時間
復習	授業レポート提出作成	約2時間

3. 管理会計と業務 「なぜ来年の商品を今、買うのか？」
検討事例「なぜ来年の商品を今、買うのか？」。1年先の商品を仕入れようとするバイヤーの行動を通して、在庫（現金）の回転率についての理解を深めます。在庫＝現金という意味について学びます。
・前回の復習と質問→課題提示→個人ワーク→グループワーク→プレゼンテーション

予習	課題シート：来年の在庫を今買うことについて考えをまとめなさい	約2時間
復習	授業レポート提出作成	約2時間

4. 管理会計と業務 「なぜレジの現金を持ち出してはいけないか？」
検討事例「なぜレジの現金を持ち出してはいけないか？」。現金を持ち出す商店主の話を事例として、資金の流れと損益計算書についての理解を深めます。
・前回の復習と質問→課題提示→個人ワーク→グループワーク→プレゼンテーション

予習	課題シート：なぜレジの現金を持ち出してはいけないか	約2時間
復習	授業レポート提出作成	約2時間

5. 検討事例の振り返り
管理会計と業務に中では5つの事例を取り上げます。事例の中には管理会計の背景には正確な業務が必要であることと損益計算書、貸借対照表、キャッシュフローについての重要な考え方が含まれていこるとを理解します。
・前回の復習と質問→課題提示→個人ワーク

予習	講義で何を学んだか？振り返りを作成しなさい。	約2時間
復習	授業レポート提出作成	約2時間

6. 損益計算書と貸借対照表
事例から考え方を理解した後に損益計算書と貸借対照表の構造とその関連性についての理解を深めます。検討事例「引っ越しの時の生活用品の準備」
・前回の復習と質問→課題提示→個人ワーク

予習	課題シート：引っ越しの時に何にいくら使ったか。また必要なお金はどうしたか？	約2時間
復習	授業レポート提出作成	約2時間

7. 貸借対照表の分析
貸借対照表の構造を理解した後に貸借対照表の簡易な分析方法について学びます。キーエンスの貸借対照表を事例に取り上げます。
・前回の復習と質問→課題提示→個人ワーク→グループワーク→プレゼンテーション

予習	課題シート：キーエンスの貸借対照表の特徴は何か？	約2時間
復習	授業レポート提出作成	約2時間

8. キャッシュフローマネジメント
キャッシュフロー計算書についての内容とその意味についての理解を深めます。営業キャッシュフロー、投資キャッシュフロー、財務キャッシュフローについての学び、優良系、しんどい系、積極投資系の特徴について学びます。
・前回の復習と質問→課題提示→個人ワーク→グループワーク→プレゼンテーション

予習	課題シート：3つのキャッシュフローについて	約2時間
復習	授業レポート提出作成	約2時間

○授業計画	科 目 名	管理会計論A（Management Accounting A）	授業コード	E009001
	担当教員	工藤　順一、橋本　堅次郎		

学修内容

9. 貸借対照表 「売掛と買掛」
社会に出てなじみの薄い「売掛と買掛」について学びます。売掛と買掛には相互の信用が重要であることについても学びます。検討事例「友達にお金を貸したがかえってこない」
・前回の復習と質問→課題提示→個人ワーク→グループワーク→プレゼンテーション

予習	課題シート：友達に貸したお金が返ってこない	約2時間
復習	授業レポート作成、提出	約2時間

10. 数字を読む 「損益計算書」
管理会計では数字の計算ができることが大前提ですが、計算した数字の背景を読むことも重要です。トヨタ自動車の損益計算書の数値を複数年度に渡り読む方法と読み取った意味について一緒に考えていきます。
・前回の復習と質問→課題提示→個人ワーク→グループワーク→プレゼンテーション

予習	課題シート：トヨタ自動車の損益計算書	約2時間
復習	授業レポート作成、提出	約2時間

11. 数字を読む 「経営数値」
管理会計は経営のすべての要素と連動します。カゴメの投資家向けの数字を使用し、複数年度にわたる経営数値の傾向から数字を読む訓練の場とします。
・前回の復習と質問→課題提示→個人ワーク→グループワーク→プレゼンテーション

予習	課題シート：カゴメ、投資家向け数値	約2時間
復習	授業レポート作成、提出	約2時間

12. 粉飾はなぜいけないか
業務を知るうえで粉飾の実態をしることは大変に需要です。粉飾を知ることでやってはいけないことを知ることになります。様々な粉飾の方法と事例について学びます。
・前回の復習と質問→課題提示→個人ワーク→グループワーク→プレゼンテーション

予習	課題シート：粉飾事例について分析	約2時間
復習	授業レポート作成、提出	約2時間

13. 不正会計と法律
米国におけるエンロンなどの不正会計から法律の整備が進み、日本でも金融商品取引法として法整備がなされました。海外の不正会計事例についても学びます。
・前回の復習と質問→課題提示→個人ワーク→グループワーク→プレゼンテーション

予習	課題シート：金融商品取引法について	約2時間
復習	授業レポート作成、提出	約2時間

14. 分析手法から考え方を学ぶ
数字の把握や分析には「率」「額」の把握が重要です。モデルとしてABC分析とプロダクトポートフォリオの考え方を理解することでオリジナルの分析を行うことも可能になる重要な手法です。
・前回の復習と質問→課題提示→個人ワーク→グループワーク→プレゼンテーション

予習	課題シート：ABC分析について調べなさい。	約2時間
復習	授業レポート作成、提出	約2時間

15. まとめ
講義を通して管理会計について学んだことのまとめです。

予習	課題シート：授業の振り返り	約2時間
復習	授業レポート作成、提出	約2時間

16. 期末試験
持ち込み：授業で配布した資料および授業で作成したノート、レポート

予習		
復習		